

(宛先) 長崎市長

イ (特別徴収義務者)
 住所 (所在地) 長崎市〇〇町1丁目1番1号
 氏名 (名称) 株式会社 長崎市宿泊観光
 代表取締役 長崎太郎
 個人番号 (法人番号) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

宿泊税納入申告書

宿泊税の納入について、長崎市宿泊税条例第12条第1項の規定により、次のとおり申告します。

ウ 宿泊施設	所在地	長崎市△△町2丁目2番2号		
	名称	長崎市ホテル		
	電話番号	095-111-1111	施設番号	エ 99999

オ 令和5年 5月分	区分		カ 宿泊数 ①	キ 税率 ②	キ 税額 ①×②
	宿泊料金 (1人1泊)	1万円未満		414泊	100円
1万円以上 2万円未満			310泊	200円	62,000円
2万円以上			22泊	500円	11,000円
A 課税対象			746泊	納入すべき 金額	114,400円
B 課税対象外			303泊		
C 総宿泊数(A+B)			1,049泊		

年 月分	区分		カ 宿泊数 ①	キ 税率 ②	キ 税額 ①×②
	宿泊料金 (1人1泊)	1万円未満		泊	100円
1万円以上 2万円未満			泊	200円	円
2万円以上			泊	500円	円
A 課税対象			泊	納入すべき 金額	円
B 課税対象外			泊		
C 総宿泊数(A+B)			泊		

年 月分	区分		カ 宿泊数 ①	キ 税率 ②	キ 税額 ①×②
	宿泊料金 (1人1泊)	1万円未満		泊	100円
1万円以上 2万円未満			泊	200円	円
2万円以上			泊	500円	円
A 課税対象			泊	納入すべき 金額	円
B 課税対象外			泊		
C 総宿泊数(A+B)			泊		

ク 納入すべき金額 合計	114,400円
--------------	----------

備考

- 課税対象 (100円・200円・500円) 及び課税対象外 (修学旅行・その他) の宿泊数が宿泊年月日ごとに記載された書類 (宿泊税月計表等) を添付してください。
- 納入すべき金額が0円の場合でも申告書の提出が必要です。

ア 「提出年月日」欄

- ・申告書の提出年月日を記入してください。(郵送の場合は、発送日を記入してください。)

イ 「特別徴収義務者」欄

- ・特別徴収義務者の住所、氏名、個人番号を記入してください。法人の場合は、所在地、名称及び代表者の職、氏名、法人番号を記入してください。

ウ 「宿泊施設」欄

- ・宿泊施設の所在地、名称、電話番号を記入してください。
- ・納入申告書は、宿泊施設ごとに作成いただく必要があります。複数の施設を経営している方は、その施設の数だけ納入申告書の作成をお願いします。

エ 「施設番号」欄

- ・宿泊税特別徴収義務者申告書を提出していただいた後に長崎市から通知する「宿泊税特別徴収義務者受理通知書」記載してある施設番号を記入してください。

オ 「宿泊月」欄

- ・対象となる宿泊月を記入してください。
- ・申告納入期限の特例の適用を受けている場合は、該当する複数の月について記載してください。特例の適用については宿泊税特別徴収事務の手引 20 ページを参照してください。

カ 「宿泊数①」欄

- ・宿泊行為月における税率ごとの延べ宿泊数を記入し、「A 課税対象」欄に合計数を記入してください。
- ・「B 課税対象外」欄には、次に掲げる宿泊があった場合における宿泊数の合計を記入してください。
 - ・宿泊施設の取扱いにより宿泊料金のかからなかった宿泊
 - ・修学旅行生等の宿泊(課税免除)
 - ・宿泊を伴うスポーツ大会・文化大会
 - ・外国大使等の任務遂行に伴う宿泊(課税免除)
- ※ 課税免除対象者については、宿泊税特別徴収事務の手引 11 ページを参照してください。
- ・「C 総宿泊数」欄には、AとBの合計を記入してください。
- ・月計表の月の合計欄と一致させてください。

宿泊数の考え方

例)3人組の宿泊客が2泊した場合 ⇒ 3人×2泊=6泊とカウント

キ 「税額①×②」欄

- ・区分ごとの宿泊数に税率を乗じた税額を記入してください。

ク 「納入すべき金額 合計」欄

- ・申告納入期限の特例承認を受けている場合は各月の納入すべき金額の合計額を記入してください。特例承認を受けていない場合も1月分の納入すべき金額を記入してください。

※ 宿泊税納入申告書の提出の際は、「宿泊税月計表」を必ず添付してください。

※ 控えの返送を希望される場合は、返信用封筒(切手貼付)を同封してください。